

予算

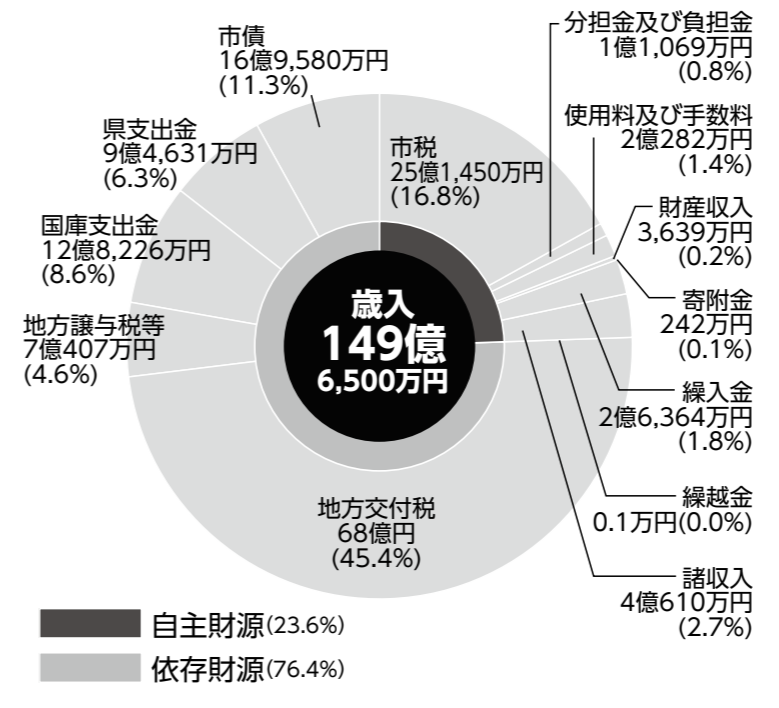
平成27年度予算書は、図書館や公民館（江田島、中町、沖美、大柿）で見られます。

新たな未来に踏みだす予算
 ～交流と協働で創りだす「恵み多き島」～
 えたじまの実現に向けて

平成27年度の予算が、2月定例議会で可決されました。一般会計の総額は、前年度比4.7%増の149億6500万円。特別会計・企業会計を含めた総額は、前年度比3.3%増の271億5157万円となりました。

問財政課 ☎(40)2761

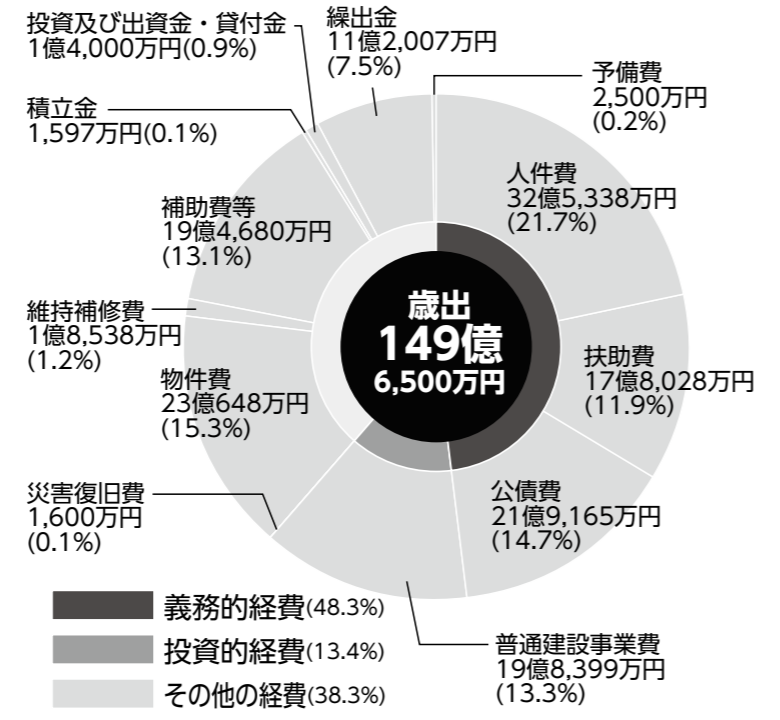
一般会計歳入



▼予算の特徴
 平成27年度の予算は、合併・市制施行から11年目となる新たな未来に踏み出す節目の予算です。また、第2次総合計画に基づく初めての予算となります。総合計画の基本構想における10年後の目指す姿「交流と協働で創りだす『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、引き続き「交流！創造！実感！」を重点的なテーマと位置付け、市の活性化と市民が安心して暮らせるための施策を充実させました。今回の予算は、「第2次総合計画」に掲げる将来像の実現に向け、必要な取り組みを盛り込んでいます。このことから、『新たな未来に踏みだす予算』であると言えます。

▼一般会計の概要
 歳入で市税や地方交付税が減収と

一般会計歳出 性質別グラフ



なる一方で、国・県支出金や市債が増となっております。歳出の性質別では、職員手当や統計調査員報酬の増などにより人件費が増加、庁舎整備事業や公共施設再編整備事業の増により普通建設事業費が増加、その他の経費はほぼ横ばいとなっております。

▼特別会計・企業会計の概要
 特別会計は、交通船事業特別会計を新設し9会計です。特別会計の総額は、90億6520万円、前年度に比べ7億6000万円（9.2%）の増額となっております。企業会計は、水道事業、下水道事業および交通船事業の3会計で、3会計全体の収益的支出と資本的支出の計の総額は、31億2137万円、前年度に比べ5億4922万円（△15.0%）の減額となっております。

特別会計・企業会計予算

特別会計	
国民健康保険特別会計	46億5,000万円 (15.0%)
後期高齢者医療特別会計	4億2,800万円 (△7.8%)
介護保険(保険事業勘定)特別会計	36億3,400万円 (5.1%)
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	2,020万円 (5.2%)
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,300万円 (△8.0%)
港湾管理特別会計	4,200万円 (△2.3%)
地域開発事業特別会計	2億800万円 (6.7%)
宿泊施設事業特別会計	5,700万円 (△5.0%)
交通船事業特別会計	300万円 (皆増)
特別会計の合計	90億6,520万円 (9.2%)

企業会計	
水道事業会計	9億9,173万円 (△8.6%)
下水道事業会計	18億5,372万円 (△8.6%)
交通船事業会計	2億7,593万円 (△50.4%)
企業会計の合計	31億2,137万円 (△15.0%)

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の計

主な事業

第2次総合計画の施策体系別

- 教育・文化部門（人が育ち、輝くまち）
 - 小学校耐震化等事業（2億8541万円）：安全・安心な教育環境を整備するため、引き続き学校施設の耐震化を進める。
 - 放課後児童健全育成事業（4583万円）：放課後児童クラブの対象年齢を小学校6年生まで拡大し、児童の健全な育成を図る。
- 産業・観光部門（元気な産業・観光を生み出すまち）
 - 6次産業化総合支援事業（128万円）：農林水産物に新たな付加価値を生み出し、産業の活性化を図るため、6次産業化による新商品開発や販路拡大を推進する。
 - 魅力ある観光地づくり事業（420万円）：観光情報の発信力強化を図るため、本市の玄関口である港の待合所に無料WiFiスポットを整備する。
 - 光回線加入促進事業（37万円）：市外からの転入企業や新規起業家に対し、光回線利用費用の一部を支援する。
- 福祉・保健部門（健康で安心して暮らせるまち）
 - 節目年齢歯科健康診査（100万円）：歯周病を予防し、高齢期の健康な暮らしを支えるため、節目の年齢に達した市民の歯科受診費用について支援する。
 - 認定こども園おがき増築・大規模改修設計（1328万円）：子ども・子育て支援事業計画に基づき、子どものきめ細かな発育を支援するため、認定こども園おがきの増築および大規模改修に係る設計を実施する。
 - 重症化予防指導事業（270万円）：糖尿病のリスクの高い方に対し、重症化予防プログラムに基づいた支援を行う。

- 生活・環境部門（生活と環境を守り、高めるまち）
 - ：天然林の除間伐や下刈りを行うことなどにより、地域の景観に即した森づくり活動を展開する。また、水産資源の増殖や漁場環境の維持修復等を行うため、カキ殻の除去や海底ごみの回収を進める。
- 安全・安心部門（災害に強く、安心して暮らせるまち）
 - 地域防災活動等補助金事業（187万円）：市内自主防災組織または自治会が行う防災活動に対する支援を行い、地域防災力の向上を図る。
 - 指定避難所等看板設置（448万円）：平常時から災害時における避難所の意識づけができるよう、避難所への誘導や対応できる災害種別を表示した分かりやすい看板を設置する。
 - 軽急急自動車導入事業（1541万円）：狹隘地区への救急サービスの提供および救命率の向上を図るため、軽急急自動車を追加配備する。
 - 基盤部門（2億7483万円）：公共施設再編整備事業（2億8336万円）：将来の公共施設のあり方を見据え、ガイドライン等に基づき、必要な庁舎の整備や公共施設の再編整備を実施する。
 - 地域公共交通網形成計画策定（800万円）、交通魅力アップ事業（410万円）：持続可能な公共交通体系構築のため、公共交通計画を策定する。また、公共交通の魅力向上のために、交通事業者が行う公共交通の利便性を図る取り組みなどを支援する。

- 地域部門（地域が元気で、にぎやかなまち）
 - 地域おこし協力隊派遣事業（32万円）：外部人材を活用した地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊の活用に向けた準備を行う。
 - 体験型修学旅行受入事業（土産物カタログ作成事業）（50万円）：体験型修学旅行の受け入れを地域活性化につなげ、本市特産品のブランド化を図るため、土産物カタログを製作する。